

## 1. 2015年度の総括

### 1 収支状況（表中の単位：千円）

決算見込み	予算比 (%)	前年比	
収入	47,029	105.4	↑
支出	44,651	100.1	↓
経常収支差額	2,378		

評価：一名の入院及び一名ご逝去される事での空床はありましたが、新規相談の方含め待機待ち方が数名居られた事もあり、予算達成見込みです。



### ① 職員配置と研修（職員数は2016年2月現在）

常勤:6名(うち2名兼務) 非常勤:9名 営繕:4名  
 年度途中段階で、常勤(契約)職員の退職及び安定した新規採用者の安定的雇用が行えなかったです。また複数名職員の長期休暇も重なり、混乱は否めなかったです。異動による補充及び休暇中職員の復帰により安定的体制を目指していきます。

### ② 事業内容

テーマにも掲げていた、発信者の育成においては、更なる向上を要します。  
 GH入居待機待ちの方が複数名(5~7名)居られます。万が一空床発生時におきましても、迅速に新規入居受け入れが行える状況であります。  
 また安定した医療体制という観点から、訪問看護事業所との施設提携契約を行い、医療体制における強化を行ってきました。一名ご逝去された方は居られましたが、体調不良となる方が大変少ない一年である事が見込まれ、安定した運営に至ったと考えます。

### ③ 品質管理

今年度も様々な実践がありました。業務からの動きだしではなく、当事者からの動きだしといった課題を掲げていましたが、来年度における継続課題として取り組んでいきます。  
 その中の一つ、97歳の入居者さんが1年間抱き続けた“海水浴”。一つの実践を行うにあたり、関わりある方々のご理解ご協力があり達成に至りました。当事者・職員だけではなく、関わりある方々にとって、温かく嬉しく悦びある実践となった事は私たち職員にとっても価値を感じる今後に繋げられる大きな実践であったと感じています。また「一人ひとりの出来る事を奪わない実践」を常々意識し、入居者さんの持てる力を活かす取り組みを行ってきました。一人の『人』の生きるとは・暮らしとは・生活とは といった部分における考察力及びエビデンスある構造的な視点におきましても更なる高めが必要であります。また発信者となる人材を一人でも多く育成していく事は重点課題であります。

## 2 2016年度の計画

### (ア) 予算案のポイント

費目	予算(千円)	前年比	算出根拠・購入物品など
収入	47,800	100%	4月より入居満床スタートが予測される。
			2015年度、新規相談件数(45件)などからみても、GH入居希望者の需要は、継続的に見込まれています。安定的稼働率の継続を目指していきます。追加加算としてサービス提供体制強化加算の算定を4月より行っていきます。 また安定的職員体制の確保及び意見の場の充実及び職員育成の強化に取り組んでいき、それらを一人ひとりの入居者さんへ還元していく実践を行っていきます。
支出	45,895		

### (イ) 主課題

『スタートは当事者から 聴いて感じて考えての実践の【継続】』

～地域・生活・介護をしっかりと理解し実践・発信出来る人材育成～

### (ウ) 年間事業計画 (予定)

4月	花見(桜)	10月	日帰り旅行
4月	花見(造幣局通り抜け)(合同)	11月	紅葉観賞
5月	つつじ鑑賞(浄土寺)	12月	保育所交流(合同)
	つつじ鑑賞(浅香山)		クリスマス会
	母の日		忘年会
6月	保育所交流会(合同)		餅つき大会(地域)
	父の日		夜警(地域)
	住吉大社御田植祭	1月	正月
7月	七夕(流しそうめん)(合同)	1月	新年会
	バーベキュー	2月	節分企画
8月	盆踊り(合同)	3月	ふらっと楽しむすみよし(合同)
	家族会	研修	であい高齢部門合同 年6回
	大領小PTA企画	研7月	GH・特養合同研修「入居者さんの暮らし・生活を考える」
9月	敬老企画(合同)		
	大領感謝祭	研12月	上記振り返り研修
10月	運動会(合同)		



1. 2015年度の総括

① 収支状況（表中の単位：千円）

決算見込み		予算比 (%)	前年比
収入	55,786	131.3	↑
支出	44,604	104.0	→
経常収支差額	11,182	74,000	↑

評価：積み上げて来た地域の中のであ  
い、内外事業所との顔の見える関係づくり  
により、登録者数増加に繋がってきていま  
す。結果予算に対し大幅な増収に至りま  
した。



② 職員配置と研修（職員数は2015年1月現在）

常勤：5名（うち2名兼務） 非常勤：11名 非常勤看護師1名  
4月スタートより常勤職員の欠員がありました。欠員を補充するには至らず、年度途中にお  
いては常勤職員の異動もあり職員体制の安定は最重要課題として考えます。また会議や  
話し合う機会が中々設ける事が出来ず、来年度における重要課題としていきます。

③ 事業内容

4月段階においては、登録者15名でありましたが、増減を繰り返しながらも地域の中にであ  
いがある存在として、と同時に他機関関係者中心に顔の見える関係づくりを行い、新規相  
談の大幅な増加がありました。早い段階での登録者数20名達成となり（現在登録者21  
名）目標達成及び予算に対して大幅増となる決算見込みに至っています。新規加算算定  
となりました訪問加算・総合マネジメント加算におきましても、収入増となっている要因です。

④ 品質管理

今年度は、小規模ケア会議を位置づけ1回/毎週以上継続実施してきました。しかしなが  
ら、担当者会議の強化・更に地域ケア会議などの包括的に話し合う機会が乏しい現状で  
す。目の前にある課題に対し、しっかり話し合える仕組み作りを行っていきます。また、安定  
した職員体制の確保が行えなかった部分におきましては、職員への過度な負担があった事  
は否めません。目の前の人に対してのより良いサービス展開という観点からしましても、早期  
に安定した体制の確保が必要であると考えます。

## 2. 2016年度の計画

### ① 予算案のポイント

費目	予算(単位:千円)	前年比	算出根拠・購入物品など
収入	60,000	107%	4月スタート21名維持を目指す。(現在21名) 来年度後半段階で登録25名を目指します。予防の方の積極的受け入れを行うにあたり、包括支援センターとの連携強化を行っていきます。また他機関との顔の見える関係づくりの更なる構築と拡大を行っていきます。
支出	47,335	110%	職員欠員の充足/利用者増に伴う経費増

### ② 主課題

<p>あたりまえのひとつひとつの積み重ねで前進を！！ ～質について見つめ直す～</p>
---

### ③ 年間事業計画(予定)

4月	花見(桜)		忘年会
	つつじ鑑賞(浅香山)		餅つき大会
	母の日		夜警
		1月	新年会
6月	保育所交流会(合同)	1月	正月
	父の日	2月	節分企画
	住吉大社御田植祭	3月	ふらっと楽しむすみよし(合同)
7月	七夕(流しそうめん)(合同)	研修	であい高齢部門合同 年5回
8月	盆踊り(合同)		
	大領小PTA企画		
	敬老企画(合同)		
9月	大領感謝祭		
10月	運動会(合同)		
11月	日帰り旅行		
12月	保育所交流会(合同)		
	クリスマス会		